

# 生産見える化セミナー

～利益向上のPointは「見える化」による「PDCAサイクル早期化」～

主催：トーテックアメニティ株式会社  
共催：株式会社シムトップス ウイングアーク1st株式会社



製造業を取り巻く環境は日々刻々と変化しております。近年では、多くの製造業様がシステムを導入され、業務で取り扱うデータ量は飛躍的に増加しております。

しかしながら、現場の担当者や管理者、そして経営層の皆様からは「実際に欲しい情報・欲しいデータの見える化ができず、どのように改善すれば良いかわからない」というお声を多く耳にいたします。

このような状況を打破すべく、本セミナーでは、データの「見える化」による「PDCAサイクル早期化」を実現するための具体的な手法をご紹介します。

是非この機会に、厳しい競争を勝ち抜くコツ・利益向上のヒントを掴んでいただければ幸いです。ご多用とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## 開催概要

開催日時：2017年1月27日（金） 14時00分～ ※受付 13:30～

会場：トーテックアメニティ株式会社 名古屋本社  
〒451-0045 名古屋市西区名駅2-27-8  
(名古屋プライムセントラルタワー7F)

《会場案内図》



主催：トーテックアメニティ株式会社

定員：20名 (満席になり次第申し込みを締め切らせていただきます。)

※同業他社の方のお申し込みはお断りする場合がございますのでご了承ください。

## プログラム概要 ※詳細は次ページ（裏面）をご参照下さい

### 【第1部】

■ 攻撃型生産管理システム  
「TPiCS-X」のご紹介

### 【第2部】

■ 電子帳票ソリューション「i-Reporter」  
及び、データ収集ソリューション  
「MC-Web CONTROLLER」のご紹介

### 【第3部】

■ 見える化ダッシュボード  
「MotionBoard」のご紹介

### 《連携イメージ》

**TPiCS-X**

● 最適な計画に基づくモノづくり

**i-Reporter**

● リアルタイムな実績収集



● 根拠のある改善行動

● 気付きを与える明快な情報

**NB MOTIONBOARD**

## お申込み方法

セミナー参加希望の方は、Webもしくは下記メールアドレスよりお申込みいただくか、もしくは必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。なお、誠に勝手ながら、満席になり次第申し込みを締め切らせていただきます。是非お早めにお申し込みいただければ幸いです。

※同業他社の方のお申し込みはお断りする場合がございますのでご了承ください。

### 【Webによるお申込み】

<http://www.totec.jp/seminar/index.html>

### 【E-Mailによるお申込み】

メール件名：「生産見える化セミナー申し込み」

メール本文：①貴社名 ②部署名 ③役職  
④お名前 ⑤連絡先（住所/電話番号）

ご希望欄にチェック願います

- セミナー参加希望  
 資料請求希望

### 【FAXによるお申込み】

FAX番号：052-533-6932 ※トーテックアメニティ株式会社 林・杉本宛

貴社名			
住所			
電話番号			
部署名	役職	お名前	E-mail

## プログラム詳細

### 第1部

14:00～14:45

**TPiCS-X**

### ■攻撃型生産管理システム「TPiCS-X」のご紹介

攻撃型生産管理とは、従来のやり方や考え方に捕らわれずに、物づくりの根本から考え直し、出来ない理由を考えるのではなく、解決する方法を考える物づくりをするための方法です。本セッションでは、『TPiCS-X』を活用した、短納期生産と在庫の適正化の両立手法や生産管理業務の見える化手法についてご紹介します。

### 第2部

15:00～15:45

**i-Reporter** 

### ■電子帳票ソリューション「i-Reporter」及び、データ収集ソリューション「MC-Web CONTROLLER」のご紹介

作業者の情報（作業実績や保守点検等）や機械設備の稼働情報、この2つの観点からデータを収集し、製造現場における見える化を実現するソリューションをご紹介します。IoTへ取り組む第1歩として、データ収集の最新動向をご確認下さい。

### 第3部

16:00～16:45

**MOTION BOARD**

### ■見える化ダッシュボード「MotionBoard」のご紹介

業務の効率化、円滑な情報提供、迅速な意思決定。激しく変化する環境やデータをリアルタイムに把握し、素早く改善に繋げていくことが求められている時代です。企業を取り巻く様々なデータを価値ある情報に変え、誰もが使いこなせる現場改善BIツールをご紹介します。